



他のアイテムと同じく、地元古河で先輩が営む「SOWLD」(ソウルド)にて購入したトリプルネームのスタジャン。持ち物の中で一番暖かいので、この4年間冬にバイクに乗る時は必ずこれ。



十字架の文字が気に入って奮発した18金ネックレス。高かった。



5年くらい前にケンタ先輩が作ってくれた財布。持ち物の中でこれだけややテイストが違うが、一生持ち続けようと思っているので気に入らない。



これもソウルドで買ったベルトは、スタッズのゴリ押し具合が大のお気に入り。本人曰く「やっぱ腰で語りてえかなと思って」とのことらしい。「借いあんちくしょう」みたいな意味のメッセージは、もちろん古河のことを指す。



襟付シャツを着ること多い篠崎さん。買ったばかりのこのネルもお気に入り。



2年前に購入し、よく着るコットンシャツ。



バイクブランド・アムクロードの伊達眼鏡。



これもケンタ先輩の手作による大切なネックレス。



襟付シャツの下にはほとんどの場合サマーのシャツを着る。ゴツク見えるので七分袖を好む篠崎さんであった。



所属するMC「NASTY」のTEE。バングルはケンタ先輩作、指輪は10年しっぽなし。



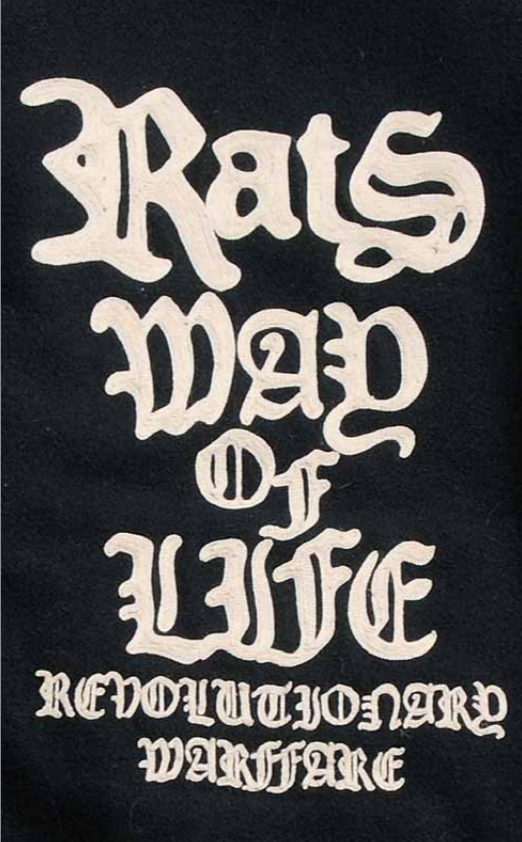
(ソウルドとは別の)先輩が作ったオリジナルデニム。太めのシルエットながらパンツのスニーカーを履いて歩いていても裾がすらないように作ってある点がお気に入り。リュックはソウルドの先輩から友達に譲り受け、それをさらにもらった。バイクに乗る時にこれを背負う。



クールグリースはネット通販で買う。今回のように七三でもオールバックでも、これじゃないとダメらしい。水性。下のサイケなバツクルは先輩所有の60年代モノ。柴崎さん的には譲り受ける気満々。



タトゥーアーティストCHAZデザインのシンジケート別注スエードパンツ。パンツ好きで10足くらい持っているうちのひとつ。



古河流ウエッサイ、ハムにありー！

「ウエッサイが好きなんです」と柴崎さんは言う。ウエッサイ…ウエストサイド。つまり西海岸スタイル。長年スケボーをやってきたこともあり、そのままスケボーをやったり街に繰り出せるカッコでいたいのだそう。チョッパーのゴリゴリの感じよりも、カジュアルなホットロダ一的なやつ。グリースできっちり固めた七三分けだって伊達眼鏡だって、そう言われてみれば確かにウエッサイ。ほとんどのハーレー乗りが同じウエッサイでも硬派系に走る中、案外自分の「男ぶり」も考えてこうしているのかもしれない。実際今回の姿形は一見「アメリカングラフィティ」とかでも決して主役にはならない優しい方のキャラっぽく、撮影に同行してくれた地元古河の諸先輩方がおおむね悪役キャラだけに、その「いい男キャラ」が余計に際立つ。そして当然それもわかりつつ、終始控えめに真黙を通していたりするのが彼女のだ。

もちろんH-Dに乗り始めた7年前からこういうスタイルだったわけではない。当初は普通のライダーを着ていたりもしていた。それが諸先輩方や悪友たちが彼のいい男ぶりに目をつけたから……かどうかは知らないが、彼らの影響を多大に受けた結果、25歳の今ができあがった。わけあって最近になって地元を離れたが、心はいつも古河にある。古河流ウエッサイがここにある。

柴崎哲哉。25歳。生まれも育ちも茨城県の境町。調理師修行中。18歳でH-Dデビューし、現在のチョッパーは3年目。